

教育講演④

【会 場】 501+502

2016年11月20日（日） 9：00～10：30

認知発達のメカニズムと読み書き障害

講師	岡崎 慎治	筑波大学
司会者	安藤 壽子	NPO 法人らんふあんぷらざ

【企画の趣旨】

読み書き障害の要因については、音韻処理障害仮説を始めとする様々な仮説が提唱され、定説化には至っていない。特に日本語においては、英語圏と異なる独自の言語体系を持つことから、より複雑な認知機能の関与が推測される。また、個の認知発達のプロセスにおいて、障害が顕在化する様相にも変容が見られる。したがって、読み書き障害の効果的な指導・支援を考える上で、個々の認知特性と認知発達の状況を捉えることが重要である。ここでは知能のPASS理論に基づく指導支援の観点から、読み書きの困難への支援について扱う。